

第 10 回学校関係者評価委員会 議事録

開催日時：令和 5 年 3 月 22 日（水）14：30～

場所：下関福祉専門学校 3 階

出席者：河田 勝志（一般社団法人 山口県介護福祉士会 理事）

国岡 雄治（社会福祉法人 やまばと会員光園 総務部長）

田尾 眞（小月商工振興会 顧問（元会長））

小西 勇也（下関福祉専門学校 同窓会副会長）

関谷 豊（下関福祉専門学校 校長）

田中 満由美（下関福祉専門学校 教務部長）

藤岡 恵子（下関福祉専門学校 教務主任）

長本 幸子（下関福祉専門学校 専任教員）

木村 薫（下関福祉専門学校 事務局） * 敬称略

議事 1 学校自己評価報告

議事 2 学校関係者評価実施

議事 3 その他

§ 1 学校自己評価報告

昨年、今年とコロナ禍による学校行事の中止の中、実習Ⅰの1年次での見学実習は、事業所の協力のもと計画通り実施ができた。しかし、2年次の訪問介護実習では、男性の受入が少ないため、男子学生のほとんどは見学実習として実習1を消化せざるを得なかった。さらに、今年度は1年次でのコロナ禍による未実施の見学実習を訪問介護同行実習と合わせて実施したため、時季外れでの依頼を各事業所に行うこととなったが、それに対して各事業所は快く引き受けをしていただき無事に実習の単位取得ができた。

留学生の受入を行い、日本語コースの特別授業をカリキュラムの中に組み入れ行ってきたためか、2年次になると留学生の日本語はかなり上達し、卒業前のケーススタディ発表を

行うことができた。記録に関しても 1 年次とは比べ物にならないぐらい日本語が上達していた。

このことから、2 年間の体系的な学校教育を受けたことにより社会から求められる人材が育まれたと考える。全国的にみても養成校の入学者が激減しており、介護福祉士を体系的に育成する本来の目的である養成校の存在や運営そのものの存続も危ぶまれている。その中で本校は、一昨年留学生の入学ということで定員充足まではいかなかったが、ほぼ定員に達していた。しかし、養成校に入学せずとも介護ビザで 5 年間は技能実習生としての在留資格が得られると改正されたり、入国規制等により今年度の留学生の入学者はいなかった。

また、日本人の入学者はハローワークからの訓練生も含め年々減少している。コロナ禍の影響によりこの 3 年、高校での進学ガイダンス、訓練説明会等中止となったり、進学フェアの開催も見送りとなった影響もあると思われる。オープンキャンパスに来ていた高校生の中には、介護福祉士として働きたい希望があっても保護者から認められず断念した学生もいる、という現状もある。しかし、高齢化社会の中地域の福祉を守るためにも、今後引き続き人材育成に力を入れていきたい。また同時に、これまで以上に介護福祉に関する魅力を発信していきたい。

§ 2 各委員による学校評価実施

各自提示された資料をもとに、学校評価票に記入される。

次回は令和 6 年 3 月に開催予定

2022年度下関福祉専門学校学校評価

1

1. 学校の教育目標

専門的知識と技術の習得に加え、豊かな感性とやさしい心を持って福祉社会に貢献出来る人材を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

福祉業界で抱えている課題である介護の人材・育成のため、学生・訓練生を確保する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1

イ	・学校における職業教育の特色は、明確になっているか	4 3 2 1
---	---------------------------	---------

ウ	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
---	-------------------------------	---------

エ	・学生・保護者に対して教育理念等明文化し、周知しているか	4 3 2 1
---	------------------------------	---------

オ	・教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	4 3 2 1
---	--------------------------------	---------

(2) 学校運営

	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1

イ	・運営方針に沿った事業計画が策定し、共有しているか	4 3 2 1
---	---------------------------	---------

ウ	・運営組織や意思決定機能は明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
---	-----------------------------------	---------

エ	・運営会議(教職員会議、教員会議等)が定期的に行われているか	4	3	2	1
---	--------------------------------	---	---	---	---

オ	・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
---	---------------------------------	---	---	---	---

カ	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
---	----------------------------------	---	---	---	---

キ	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
---	---------------------------	---	---	---	---

ク	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1
---	----------------------------	---	---	---	---

(3)教育活動

ア	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1

イ	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
---	--	---	---	---	---

ウ	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
---	--------------------------	---	---	---	---

エ	・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・ 開発などが実施されているか	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---

オ	・関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---

カ	・関連分野における実践的な職業教育(実技・実習等)が体系的に位置づけられて いるか	4	3	2	1
---	--	---	---	---	---

キ	・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
---	-------------------	---	---	---	---

ク	・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
---	------------------------------	---	---	---	---

ケ	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
---	---------------------------------	---	---	---	---

コ	・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
---	---------------------------------------	---	---	---	---

サ	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
---	--	---	---	---	---

シ	・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---

ス	・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
---	--	---	---	---	---

セ	・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
---	-------------------------	---	---	---	---

OJTとして年2～3回社内研修内で行っている。また必要に応じて外部講師を招いて行っているが、OFF-JTについては、なるべくオンライン研修に参加するようにしているが、開催日程が合わず参加を見直すものもあった。

(4) 学修成果

ア	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1

イ	・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
---	-------------------	---	---	---	---

ウ	・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
---	-----------------	---	---	---	---

エ	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
---	-----------------------------	---	---	---	---

卒業生交流として、卒業後5年を経過した卒業生に講演を依頼している。また、実習先などや同窓会において卒業生の活躍等を把握するが、全員までの把握には至らない。また、今年度、創立25周年記念祝賀会の開催を予定していたが、卒業生の意向によりコロナ対策のため中止となり、記念誌を発行した。

(5) 学生支援

ア	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1

イ	・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
---	----------------------	---	---	---	---

変化に気づいたときは、声掛けや面談を行っている。臨床心理士による面談も週に1回開放しているが、専門家に相談したいときに随時できる環境でないため十分とはいえない

ウ	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
---	--------------------------	---	---	---	---

エ	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
---	---------------------	---	---	---	---

1年に1回健康診断を行っており、養成施設として看護師が専任教員となっているため、健康管理を行いやすい環境となっている。しかし、休息室の確保が難しく気分不良の訴え時には、実習室の一部を利用し安静臥床の場所としている。

オ	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
---	------------------------	---	---	---	---

学生が希望する課外活動があれば、活動費の一部補助の支援体制はあり、そのことを学生にも告知をしている。しかしここ6年ほど課外活動に対して学生からの要望がなく支援はなされていない。

カ	・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
---	----------------------	---	---	---	---

一人暮らしを希望する学生には、学校近くのリーズナブルなアパート等を斡旋している。しかし、そのほかの生活環境への支援は、学生からの要望等がないため行われていない。

キ	・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
---	-----------------	---	---	---	---

ク	・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
---	----------------	---	---	---	---

ケ	・社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
---	------------------------------	---	---	---	---

コ	・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---

(6)教育環境

ア	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1

施設・設備は随時必要に応じて整備しているが、予算もある都合上優先順位をつけ行っている。

イ	・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1
---	--------------------	---	---	---	---

(7) 学生の受入れ募集

ア	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1

イ	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
---	------------------------------	---	---	---	---

ウ	・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1
---	-------------------	---	---	---	---

(8) 財務

ア	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1

今年度の入学者は、留学生の入国制限があったため日本人のみの入学となり、昨年度に比べ大幅に減少した。年度により学生数の確保が困難なため安定とは言えない。

イ	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
---	---------------------------	---	---	---	---

ウ	・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
---	------------------------	---	---	---	---

エ	・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1
---	---------------------	---	---	---	---

(9) 法令等の遵守

ア	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1

イ	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
---	-----------------------------	---	---	---	---

ウ	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
---	------------------------	---	---	---	---

(10)社会貢献・地域貢献

ア	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1

今年度もコロナ禍により、中止となった学校行事があり社会貢献・地域貢献の機会を持つことができなかった。しかし、学生だけによる校外清掃活動を、各学年、年2回以上行っている。

イ	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
---	-------------------------	---------

コロナ禍のため要請自体がないので活動ができなかった。しかし、要請があれば活動を希望する学生はいる

ウ	・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1
---	--	---------

ハローワークの教育訓練として6か月の実務者研修を受託しているが、公開講座等は要請があれば受託を検討するが、今年度は要請がなかったため実施をしていない。

(11)国際交流(必要に応じて)

ア	評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
	・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 2 1

イ	・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 1
---	---------------------------------------	---------

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・数の減少は、養成校だけでなく福祉業界全体の問題となっている。各福祉施設の共通課題として、養成校とともに全員で福祉の魅力を発信していかなければならない。そのために今後福祉事業者と学校とが連携をは図っていくことが必要である。

・学生の確保が困難となっているが、現場の立場から学校で学ぶ価値は十分あり、必要な事と思われる。そのために学校の必要性が、もっとアピールできたらいいと考える。